

鳥海山の火山活動解説資料（平成 22 年 11 月）

仙台管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気など表面現象の状況（表 1、図 2～5）

上郷（山頂の北西約 10km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は観測されませんでした。

9 月 14～16 日にかけて現地調査を実施しました。鳥海山山頂付近の新山東側斜面及び荒神ヶ岳付近は、1974 年の活動で噴火したところですが、この周辺の地表面温度分布¹⁾は、6 年前（2004 年 10 月）と同様地熱の高い箇所は認められませんでした。

1) 赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器です。熱源から離れた場所から測定することができる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

・地震や微動の発生状況（表 1）

火山性地震、火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図 6～7）

9 月 14～16 日にかけて実施した GPS 繰り返し観測では、火山活動によると考えられる変化は観測されませんでした。

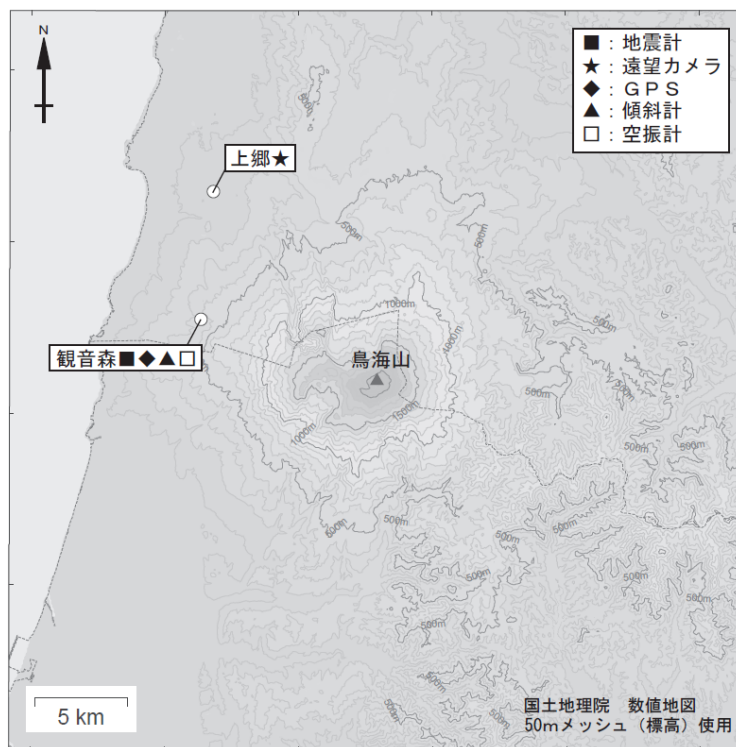


図 1 鳥海山 観測点配置図

（小さな白丸は気象庁観測点位置を示しています。）

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 22 年 12 月分）は平成 23 年 1 月 7 日に発表する予定です。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 20 業使、第 385 号）。また、同院発行の『数値地図 25000（地図画像）』を複製しています（承認番号 平 20 業複、第 647 号）。

表 1 鳥海山 月最大噴気高と火山性地震・微動の月別回数

	2010年							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
月最大噴気高 (m) ²⁾	- ⁴⁾	-	-	-	-	-	-	-
月別地震回数 ³⁾						0	0	0 ⁵⁾
月別微動回数 ³⁾						0	0	0 ⁵⁾

- 2) 2010年4月1日より観測開始。
- 3) 2010年9月1日より観測開始。
- 4) -:噴気なし。
- 5) 11月28日～30日は機器障害のため欠測。

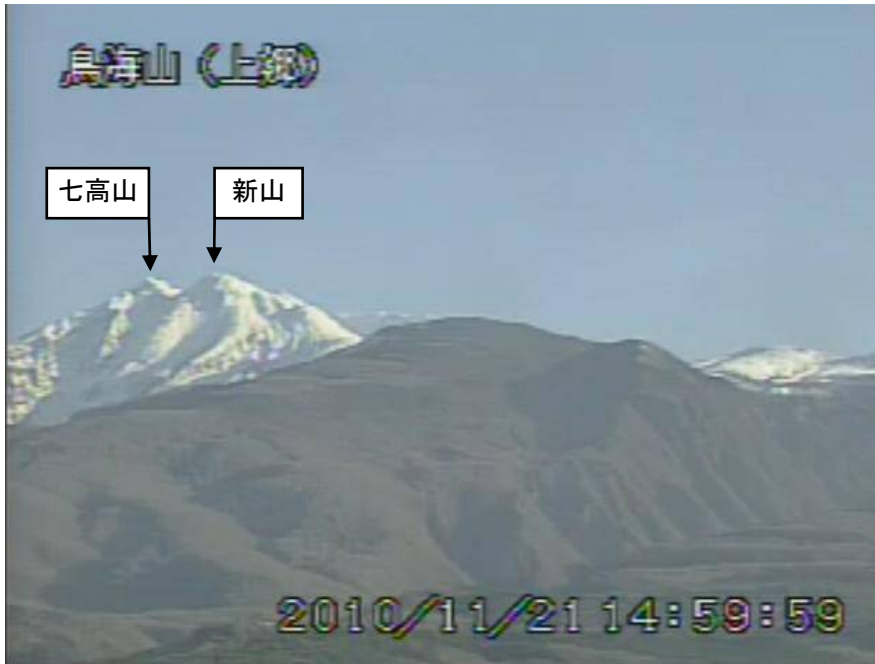


図 2 鳥海山 遠望カメラによる映像（11月21日15時00分頃）
上郷（山頂の北西約10km）に設置してある遠望カメラからの映像。

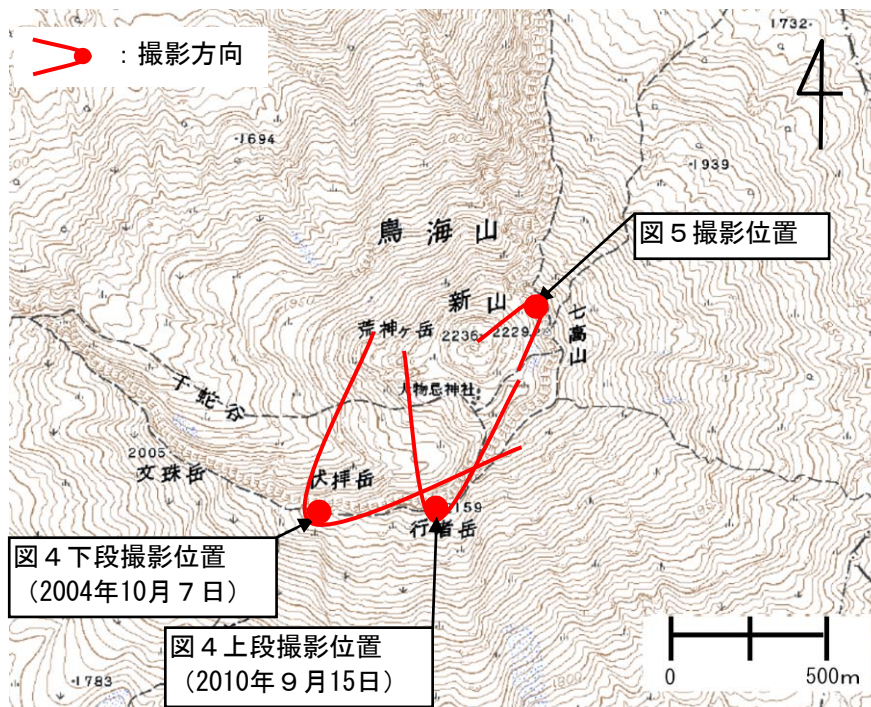


図 3 鳥海山 地形図と図4～5の撮影位置
この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図 25000（地図画像）」を複製しました。

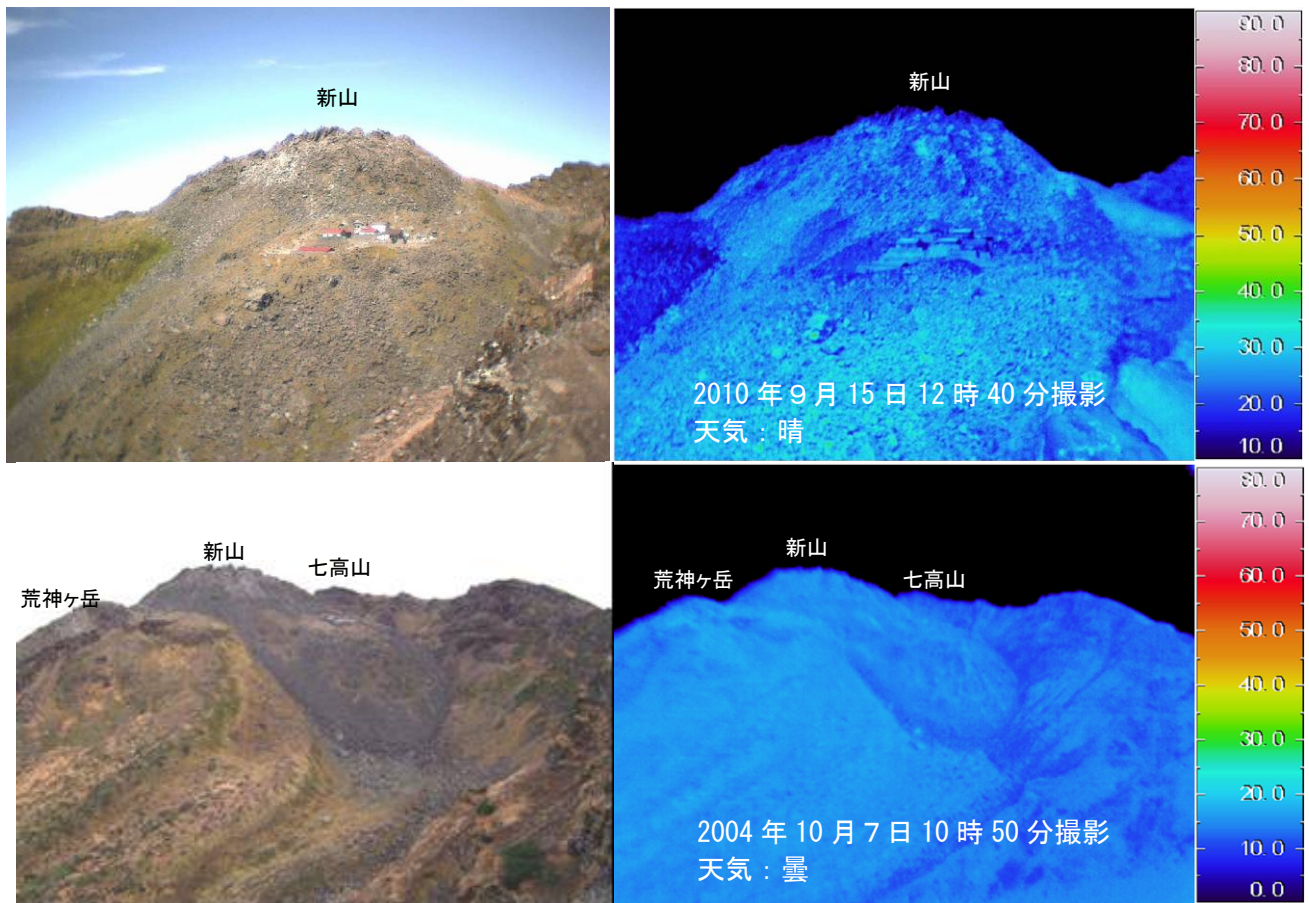


図4 鳥海山 山頂付近の可視画像 (左)と地表面温度分布¹⁾ (右)
 上段: 2010年9月15日撮影 下段: 2004年10月7日撮影

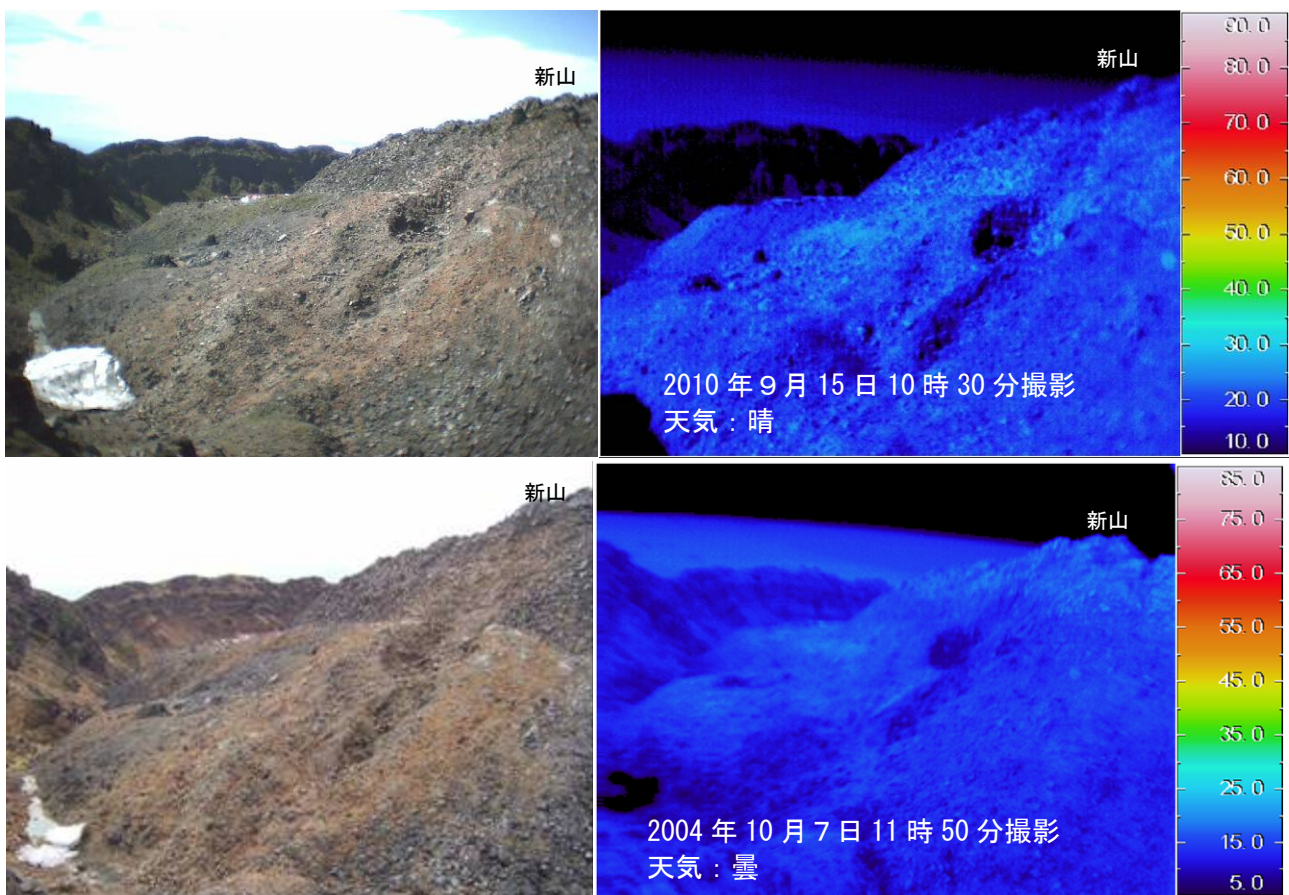


図5 鳥海山 新山東側斜面の可視画像 (左)と地表面温度分布¹⁾ (右)
 上段: 2010年9月15日撮影 下段: 2004年10月7日撮影

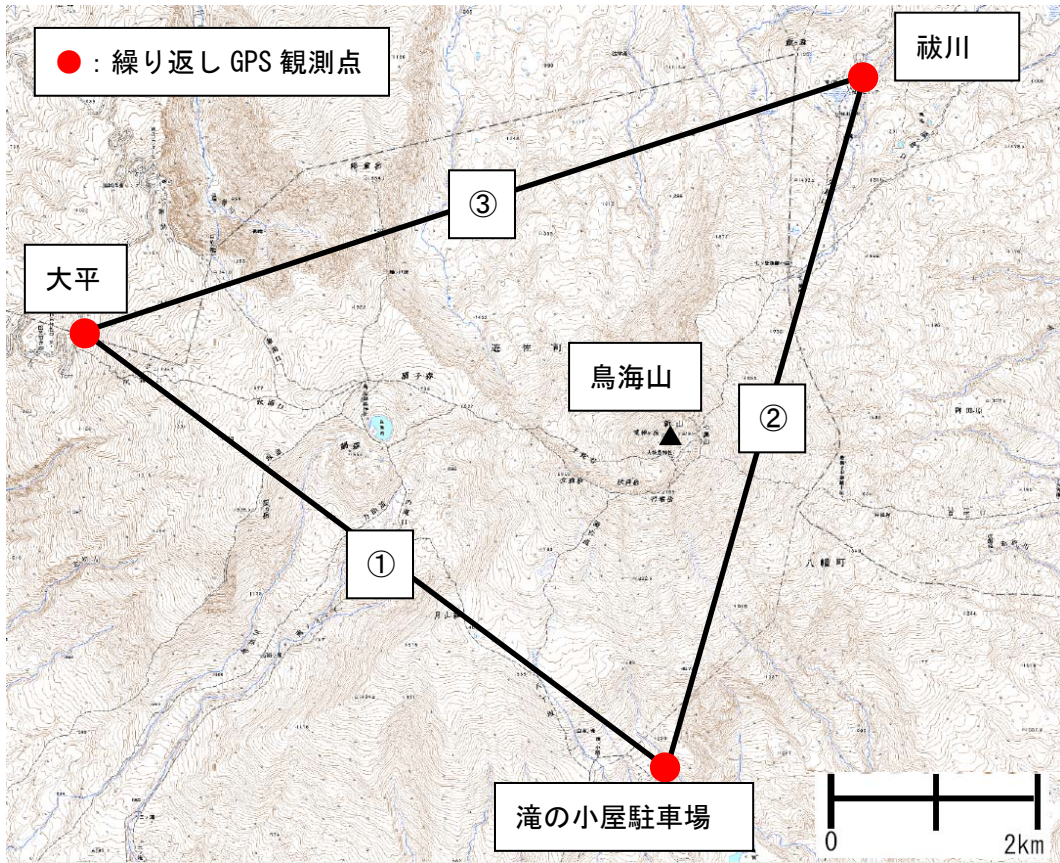


図 6 鳥海山 GPS繰り返し観測点配置図

GPS基線①～③は図7の①～③に対応している。

この地図の作成には国土地理院発行の「数値地図25000 (地図画像)」を複製しました。

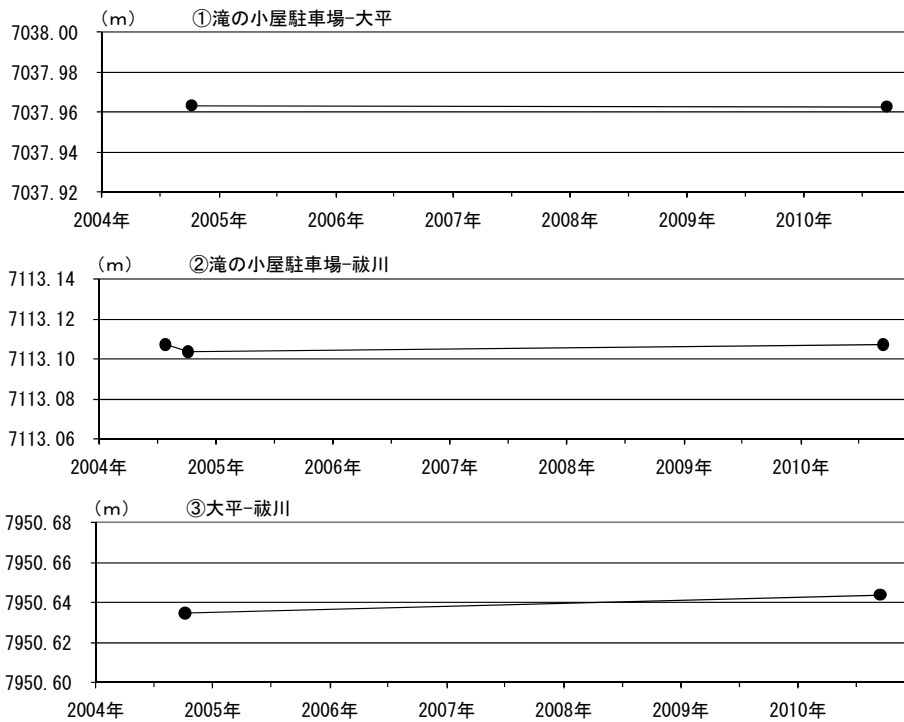


図 7 鳥海山 GPS繰り返し観測による基線長変化図 (2004年7月～2010年10月)

上図の基線番号①～③は図6のGPS基線①～③に対応しています。